


平成28年度 都立学校・学校経営シート

校章			<b>都立青山高等学校</b> 全日課程		進路実績 4年制大学 74% 短期大学 0% 専門学校 1% 就職 0% その他 25%
	高きを望め 青山で				基 進路特徴 国公立大学現役合格94名、卒業生の50%が国公立大・早慶に進学 主な部活動 青山フィル、ラグビー、サッカー、男子・女子バレー、硬式野球、水泳、柔道、陸上、剣道、男子・女子バスケット、硬式テニス、バドミントン(加入率97%) 学校評価 学校満足度:生徒95%、保護者98%(27年度学校評価結果より)
基本情報	所在地	〒150-0001 渋谷区神宮前二丁目1番8号	電話番号	03-3404-7801	本 入学者選抜情報 募集人員 推薦:男子14人・女子13人、学力:男子131人・女子119人
	アクセス	(1) 東京メトロ・銀座線「外苑前」下車 徒歩3分 (2) JR中央・総武線「千駄ヶ谷」又は「信濃町」下車 徒歩15分 (3) 都営地下鉄・大江戸線「国立競技場」下車 徒歩15分			
本学情報	学科	普通科			26年度入学生 推薦 男子 6.36 女子 9.08 27年度入学生 推薦 男子 5.19 女子 8.27 28年度入学生 推薦 男子 7.21 女子 9.62
	在籍生徒数	893人(男子461人、女子432人)			
報	教育課程の特徴	50分6限授業、3学期制、習熟度別授業(数学1・2年、古典2・3年、英語2・3年)、土曜授業(年間20回、70分3限授業)、土曜講習(年間8回)			学力検査 男子 2.02 女子 1.85 男子 2.38 女子 2.11 男子 2.43 女子 2.34
	ホームページ	<a href="http://www.aoyama-h.metro.tokyo.jp/">http://www.aoyama-h.metro.tokyo.jp/</a>	自律経営推進予算 28年度(単位:万円)	2,300	
その他	進学指導重点校 英語教育推進校	校服	標準服	男子:学生服 女子:ブレザー、スカート	その他の特徴 推薦:個人面接、集団討論、小論文(社会分野、理科分野) 学力:進学指導重点7校でグループ共通問題(国・数・英) 主な学校行事 外苑祭(文化祭・9月)、体育祭(6月)、修学旅行(京都・奈良:3月)マラソン大会(2月)

目指す学校	○難関国公立大学を目指す進学校 ○知・徳・体のバランスのとれた全人教育校
-------	---

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	<b>進学指導重点校として、安定した進学実績を挙げる</b> ①5年後の目標を明確にし、それに向かう1年目の指導の柱を学年ごとに立てる。 ②授業のない土曜日を講習デーとして、原則全員登校させ、入試に結び付いた講習を行う(3年)。1・2年生は基礎教科の補強の講習を行う。 ③模擬試験の結果は学年集会で返却する。	難関国公立大受験者数を増加させ、東京大学合格者を6名と倍増することができた。一方、中堅上位層の生徒への指導を十分には行えず、東京工業大学、一橋大学の受験者層を増やすことはできなかった。 ①学校経営計画に示した、5年後の数値目標達成のための具体的な手立てを講じることができない学年があった。 ②土曜日の講習デーは、模擬試験や暦の影響により、予定回数を実施することができなかった。 ③3学年は、模擬試験の結果分析の指導は学年集会で実施したが、答案等の返却はクラスごとに実施した。	
目標②	<b>学習形態全体の見直しを行い、質の高い学びを追究する。</b> ①能動的な授業形態を積極的に導入し、今後求められる高校教育の在り方を検討していく。 ②授業規律、特に遅刻指導を徹底する。 ③自習室の積極的活用を更に進め、生活にメリハリを付けさせる。 ④すきま時間を有効に活用させて、進路実現を図る。	授業観察・授業評価・管理職による直接の指導等を行って、質の高い授業の維持を実現できた。 ①生徒による活動が活発な授業もあったが、深い学びにまで到達しているものはごく限られた。 ②1・2学年の遅刻者は減少したが、3学年は昨年比で倍増した。 ③自習室の環境整備を実現し、使用ルールを教職員・生徒に徹底することにより、より多くの生徒が活用できるように改善できた。 ④具体的な指導は、教員個々に委ねざるを得ず、教員による差異が目立った。	
目標③	<b>積極的な広報・募集活動を行い、学校の魅力を発信する。</b> ①近隣の中学校の学校説明会に参加し、小学生保護者に本校を説明する機会を設ける。 ②中学生対象の出張授業を増やす。サマースクールの講座数を増やし、中学生の受入数を拡大する。 ③ホームページに生徒の活動する姿を適時掲載し広報活動を充実させる。	進学実績のある中学校や近隣の中学校に出向いたり、塾や予備校等の説明会などの機会を利用して、十分な広報活動を実施することができ、入学者選抜の高い倍率と合格者の評定平均値の向上に結び付けることができた。 ①難関都立高校となったことを踏まえ、進学実績のある中学校を中心に募集活動を実施した。 ②サマースクールは、校長も加わって実施し、講座数を増やすとともに受け入れ数を伸ばすことができた。 ③ホームページでの情報発信の内容を拡大し、広報活動を充実することができた。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	25年度		26年度		27年度		今年度		29年度	30年度	31年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	5(6)教科7科目型受験者 在籍者の6割以上	180	189	180	180	190	185	190	182	230	210	210
目標②	難関国公立大学(東大・京大・一橋大・東工大・医学部医学科・旧帝大)現役合格者 18名以上	18	27	18	18	21	26	30	22	35	30	30
目標③	学力検査応募者 男女合わせて500人以上	500	485	500	590	500	531	500	508	510	500	500

## 目指す学校像 「学校群時代の名門校」復活！

◎知・徳・体のバランスの取れた生徒の育成

◎(難関)国公立大学を目指す進路指導



学習

三兎を追う青高



時間の管理と切り替え